

幡多地区PTA研究大会（土佐清水市大会）

令和5年11月26日（日）に土佐清水市立清水中学校にて「幡多地区PTA研究大会」が行われました。幡多地区の6市町村から約125名の参加があり、表彰行事、家庭のルールづくりチェックシートの発表、PTA活動の発表、講演が行われました。今後のPTA活動の活性化や子どもたちの健全育成につながるヒントを得ることができた研究大会となりました。

【個人表彰】

沖本 竜也 様 四万十市立中村南小学校 PTA

【団体表彰】

土佐清水市立幡陽小学校 PTA 様

土佐清水市立下ノ加江小学校 PTA 様

黒潮町立南郷小学校 PTA 様

幡多地区小中学校PTA連合会表彰



宿毛市・四万十市・土佐清水市のPTA活動の紹介

家族と夕陽を見る時間が大好きです



沖の島小中学校 PTA の取組

- ・愛校作業
- ・地域の行事
- 弘瀬春祭り
- 沖の島文化祭
- 母島秋祭り
- 弘瀬秋祭り
- 沖の島秋の大運動会
- ・海岸清掃
- ・芋の栽培

地域の活動に積極的に参加し、地域と学校（PTA）が協力しながら子どもたちの成長に関わっていている。

利岡小の子どもたちは我が子のように大切に



利岡小学校 PTA の取組

- ・地域の秋祭り
- ・プール掃除
- ・夏休みのプール解放
- ・愛校作業・グラウンド整備
- ・保小合同運動会
- ・救命救急法講習会
- ・市P連スポーツ大会

人が少なくなったから取組をやめていくという後ろ向きな発想ではなく、子どもたちのために何ができるかを前向きに考え取組んでいきたい。

子育てもPTAも期間限定楽しみたいと



清水小学校 PTA の取組

- ・夕涼み会
- ・愛校作業
- ・街頭指導
- ・親子レク
- ・どんど焼き
- ・ベルマーク運動

学年単位での行事担当を置くなど、各家庭が行事を選択し、みんなが出やすいように、時代に合うPTA体制を考えながら活動していく。

講演 「特別な支援が必要な子供への特性理解と対応について」

西部教育事務所の奥宮指導主事を招聘し、特別な支援を必要とする子どもたちについて、その特性と関わり方を分かりやすく説明していただきました。また、近くに座っている方と自分の考えを伝えあい共有する場面もつくっていただき、気付きのある講演となりました。発達障害には、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、自閉症スペクトラム等の障害があり、これは、中枢神経系の障害であります。養育やしつけなどの環境、また本人の努力不足が要因ではありません。脳の処理の仕方が違うといわれています。それぞれ特性があるため、その特性を理解し、子どもの気持ちを聞き、考え、環境を整えながら関わるのが大切であるというお話でした。

その関わり方については、全ての子どもに対しても同じく必要なことです。褒めて育てること、具体的な言葉で伝えること、マイナスの言葉ではなくプラスの言葉で状況を受け止め発信すること。それがユニバーサルデザインです。

得意なことや好きなことを褒め、困っていることがあれば子どもの目線に立ち、その背景をとらえて支援していくことが大切であるということを教わりました。

子どもに対して一方的に大人の考えを伝えたりするのではなく、子どもの気持ちに寄り添いながら、子どもが納得できるように伝えていけたらいいですね。

